✿もちづき久晴さんにご声援を!!✿

戸田市議会議員　むとう葉子
むとう葉子地域後援会会長　高坂陸子

2月17日、「私たちの市長をつくる戸田市民の会」（代表・米倉洋子弁護士）主催で開かれた「私たちの市長をつくる戸田市民のつどい」で、3月18日告示、同月25日投票で行われる戸田市長選挙に、会として望月久晴氏（元日本共産党戸田市議）を推薦することを決めました。

県下一の財政力を市民のために

県下一の財政力を市民のために活用する、憲法を生かして住民こそ主人公の戸田市を一緒に作っていこうと決意したものです。

私たちは望月久晴さんのこの挑戦を全面的に支持し、応援していきます。

もちづき久晴さんプロフィール

1947年10月21日生まれ
1989年1月戸田市議会議員初当選
以後7期（28年）連続当選
2017年1月市議会議員退任
2018年2月17日　「私たちの市長をつくる戸田市民の会」の推薦を受ける
趣味は、ソフトボール、スキー、映画鑑賞　　家族は、妻、息子２人

原発の再稼働許さない

すでに立候補を表明された二人の方は、原発の再稼働を推進し、安倍首相と一緒に憲法を変えようとしている団体「日本会議」に席を置かれていたり、以前住んでいた自治体のみなさんから大きな批判が出ている方々です。

憲法を暮らしにいかして

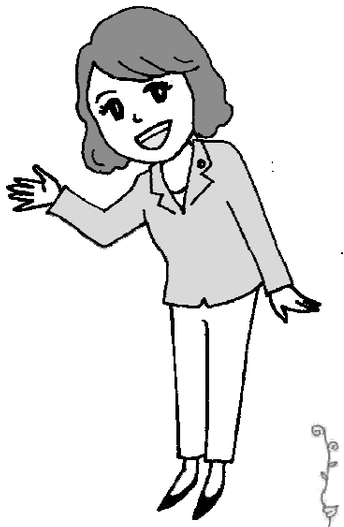
そのような方々に市政は任せられないのではないでしょうか。私たちは「市民の会」のみなさんとともに告示まであと1カ月を切った市長選挙に全力で取り組みます。日本共産党にご支持いただいている皆さん、後援会員の皆さん、またニュース読者のみなさん、大きなご支援をよろしくお願いします。

もちづきさんは、野球が大好き、今は町内会のソフトボールチームの監督でセカンドを守っています。毎日曜日、６時から８時、小学校のグランドで早朝練習を欠かさないスポーツマンです

日本共産党 No.31 2018年3月

むとう葉子
地域後援会　ニュース

いつもニュースをお読みいただいてありがとうございます。ご意見、ご要望をお寄せください。



日本共産党 戸田市議会議員 むとう葉子 地域後援会
TEL/FAX：433-5066　部内資料
HP：http://mutouyouko.web.fc2.com/

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぶ
しんぶん赤旗
日刊紙 3,497円
日曜版 823円

もちづき久晴さん立候補を伝える新聞

東京新聞

来月の戸田市長選
元市議・望月さん 無所属で出馬へ

三月二十五日投開票の戸田市長選で、元市議の望月久晴さん(七〇)が二十二日、無所属で立候補する考えを明らかにした。望月さんは会見で「戸田市の財政力は高いのに、公共工事費が他市より突出して多い。無駄遣いをやめ、市民の暮らしや生活に生かしたい」と述べた。

望月さんは一九八九年の市議選で共産党公認で初当選し、二〇一七年まで七期務めた。現市政に批判的な市民でつくるグループの要請を受けて出馬を決めたという。

市長選ではこれまでに、いずれも無所属新人で県議の菅原文仁さん(四二)と、北本市長や戸田市副市長を務めた石津賢治さん(六三)が立候補を表明。現市長の神保国男さん(七五)＝五期＝は今期で引退する意向を明らかにしている。

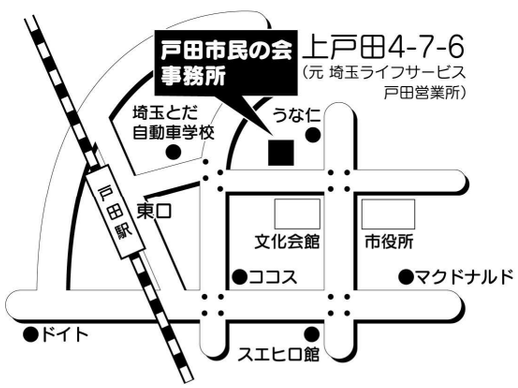
（杉本慶一）

ごあんない

「私たちの市長をつくる市民の会」事務所開きにお出かけください

3月3日(土)午後2時

T/F　048-446-2064（2/28から）



私たちの市長をつくる
戸田市民の会

私たちが望む５つのこと

１、県下一の財政力を市民のために使い、
　　憲法を生かして住民こそ主人公の戸田市を作る。
２、東小中一貫校をはじめとする「公共施設再編計画」を見直す。
３、国民健康保険税の大幅値上げを凍結する。介護保険料を値下げする。
４、公共事業の入札を透明化、公正化をする。
５、国の言いなりの施策ではなく、
　　「住民の福祉の増進を図る」施策を、市民とともにすすめる。

「私たちの市長をつくる戸田市民の会」の HP から

日本共産党花井伸子議員団長総括質問

市議会・一般質問速報

国保税の大幅値上げ　かみ合わない答弁！

【花井】12月議会でいち早く国保税の大幅値上げが提案され、日本共産党以外の全ての会派・議員の賛成で可決したが、まだ、具体的な税額が国保加入者のみなさんに知らさていない。激震が走るのはこれから。

国からの公費投入や、県への納付会の見込み額が減る中、市の一般会計からの繰り入れも大幅に減ることからしても、30年度の値上げは見送るべきではなかったのか。

国保加入者の状況をしっかりと見極めながら、市民が安心して医療を受けられる国民健康保険制度の維持のため、保険料の引き下げを含め、他の減免制度の的確な実施、相談対応など他部局との連携をいっそう蜜にしていくことが求められているが。

【市長】広域化後については、国からの公費投入、また税の改正等により、平成30年度の本市国保会計の収支は若干改善する見込みであるが、まだ本来必要とされる標準保険税率には至っていない状況である。

今後も国・県の動向、また国保加入者の状況をしっかりと踏まえながら、市民が安心して医療を受けられる国民健康保険制度の安定に努めていく。

もちづき久晴さん
前市議会議員　推薦

私たちの市長をつくる
戸田市民の会

2月17日、「私たちの市長をつくる戸田市民のつどい」（「私たちの市長をつくる戸田市民の会」（代表・米倉洋子弁護士）主催）が開かれました。会場は７０名をこえる市民であふれかえり、３月18日告示、同月25日投票で行われる戸田市長選挙に、会として望月久晴氏（前日本共産党戸田市議）を推薦することが発表されました。

つどいでは、事務局長から「『県下随一の財政力を市民の生活に生かし、憲法に基づく戸田市政をつくってほしい。市民と野党の共同』という会の願いを託せる候補者として、望月久晴氏を推薦することを会として決めた」との報告がされると、会場からは大きな拍手が巻き起こりました。会の推薦を受け、無所属で立候補することを決意した望月氏が登壇し、今の神保市政で我慢できないことが4つあるとし、

①県下１豊かな財政力がありながら、公共料金等の値上げや福祉サービスの削減を行っていること
②国保税の大幅値上げを決めたこと
③国いいなりで市民の声を聞かず公共施設の統廃合、廃止、売却を進めようとしていること
④公共工事の入札における最低制限価格を市長が決めていること

等をあげ「このような大きな問題点を是正させるためにも、是非とも、市長へと押し上げて頂きたい」と訴え、「財政力にみあった豊かなくらしを実現させるために全力で頑張ります。と決意を述べました。

社民党15区議長激励の挨拶

社会民主党15区議長の今井氏から「憲法をくらしに生かすことを貫く、望月さんをぜひ市政に送り出してもらいたい」と激励の挨拶をいただきました。

米倉代表からは、「共謀罪反対、憲法改正反対、国会議員の間では野党共闘が進んでいる。市民と野党の共闘の候補として望月さんを応援していきます。戸田市からも民主主義が育って来つつあるのではと感銘を受けた」と語られました。

会は、多様な市民の声が反映できる、上から目線（トップダウン）でなく、市民とともに歩む、市民に優しい市役所・市長を実現するとしています。